

お役立ちレポート

大規模木造施設建築
～介護・福祉・医療～

3階建て以下の建築物における木造化率の推移

低層(3階建て以下) 【延べ床面積ベース】	令和元年度		令和2年度	
	合計(m ²)	木造率(%)	合計(m ²)	木造率(%)
建築物全体	79,532,690	65.1%	71,745,432	65.8%
	51,806,426		47,188,870	
公共建築物	5,119,591	28.5%	4,572,032	29.7%
	1,456,839		1,359,417	
国	133,070	4.2%	97,891	7.1%
	5,593		6,934	
都道府県	261,195	10.0%	268,493	10.2%
	26,184		27,319	
市町村	1,538,567	16.1%	1,368,306	17.2%
	248,329		235,515	
民間と個人	3,186,759	36.9%	2,837,342	38.4%
	1,176,733		1,089,649	

上段:新築に係る床面積の合計

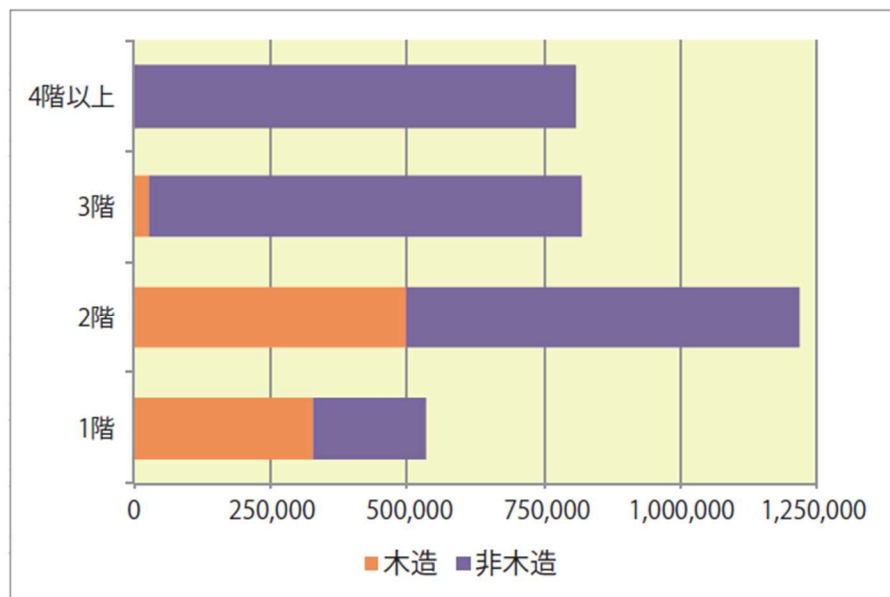
下段:うち、木造の床面積の合計

① **低層階(3階建て以下)**の建築物における木造化率は上昇傾向

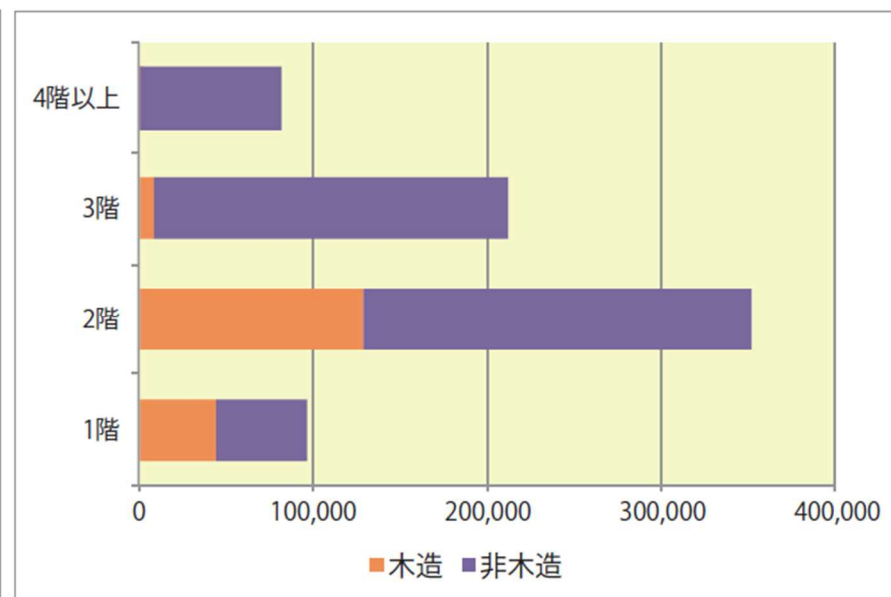
② 建築主別では、「民間と個人」で特に上昇しており、公共建築物のみではなく**民間建築物にも拡大している状況**

新築の介護・福祉施設の木造化の状況

◆介護・福祉施設の着工床面積における木造/非木造の割合



全体



1,000~2,000m²未満の施設

- ① 総着工面積の25%が木造、1階建て・2階建てはそれぞれ62%・41%
- ② 福祉施設は木造建築の需要が高い建物種別
- ③ 1,000m²~2,000m²未満でも準耐火建築物に該当するか、防火区画分けの処置によって木造で建築することが法令上可能に